

会議録

| | |
|-----------|--|
| 会 議 名 | 第6回使用料等受益者負担適正化検討会 |
| 日 時 | 平成28年1月15日(金) 午前10時~12時 |
| 場 所 | 八王子市役所本庁舎 第5委員会室 |
| 出 席 者 | 飯島 大邦、松井 望、小室 崇司、竹名 裕子 伊佐 浩一、大橋 由里子 |
| 事 務 局 | 行財政改革部長 吉徳 光男 行政管理課長 田倉 洋一 行政管理課課長補佐兼主査 高嶋 秀樹 行政管理課主任 星 香代子 |
| 欠 席 者 氏 名 | なし |
| 議 題 | 1 保育園等保育料 2 看護専門学校授業料等 3 スクールバス利用者負担金 4 検診受診費用 5 予防接種費用 |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 非 公 開 理 由 | |
| 傍 聴 人 の 数 | なし |
| 配 布 資 料 名 | 第6回使用料等受益者負担適正化検討会次第 資料1：保育料等について 資料2：看護専門学校授業料等について 資料3：スクールバス利用者負担金について 資料4：検診受診費用について 資料5：予防接種費用について |

会議の内容

1.開会

【座長】第6回使用料等受益者負担適正化検討会を開会する。議事に入る前に事務局から前回の検討事項に関して、報告をお願いする。

【事務局】使用料の算定方法について、「入場料など一人当たりの使用料の算定基礎となる人数は、実績値とする」と提案したところ、実績だと利用者が少ない所は料金が高くなり、より利用されなくなってしまうというご意見をいただいた。施設担当所管に確認したところ、目標値の設定は可能とのことなので、実績値でなく目標値に変えたい。

2.議事

議題1 保育園等保育料

【事務局】保育園等保育料について説明

【座長】児童福祉専門の審議会があるということなので、この検討会では国基準に対する保護者負担の割合、市が税金で負担すべき割合などについてご意見をいただきたい。

【委員】立川市では新制度への移行に伴い、保育料に関する審議会で額を定めた。立川市は保育料を古い段階に決め、それ以降改定せずに来ていた。税制改正で所得税が減税されたことによって、結果的に保護者負担の比率が下がっていたので、今回の改定で税制改正前と同じ水準の5割になるよう考慮した。八王子市は従来の保育料のまま、新制度の形に移行したということか。

【事務局】所得階層ごとに、あまり保育料が変わらないように考慮して設定した。八王子の場合は、税制改正に伴う料金改定をその都度行い、常に50%を維持している。保育担当の職員によると、かなり前に東京都から50%をめどに保育料を設定するようという通知か何かがあり、このような横並びになっていると聞いた。

【委員】5割負担と言っても、実質、保護者の負担はさらにその半分になる。

【事務局】全体の経費の半分が保護者負担、それが国基準の徴収額となる。全体の4分の1を国が負担。残りの4分の1を半分ずつ都と市が負担ということになる。

【委員】保護者負担の割合は5割でなければいけないということはない。各市の立場で、保護者負担の割合を高くすることも可能ではあるが、過去の経緯があって横並びになっているのではないか。

【事務局】参考に昭島市は、保育標準時間と短時間とで料金差が大きい。結果として保育短時間の希望者が20%位、八王子は7%弱なので、料金設定による誘導も可能である。

【委員】国の大きな施策、つまり人口減少対策という問題もあるので、保護者負担を増やさずに現状の水準をできるだけ据え置くことが望ましいのではないか。

【座長】50%というのは、他市の状況を見ても平均的であるということで、これまでの負担と大きく変わることはないような配慮はしていくべきかと思う。

【事務局】他市と比べると八王子市は、上限額が低い水準で設定されているので、その点についてご意見をいただければ、検討会の意見として児童福祉分科会に申し入れる。

【委員】保育園児をかかえている若い年代で年収 1,100 万以上というのは、非常に限られるのではないか。

【事務局】26 年度の実績では、3.9%。394 人位。世帯合算なので、夫婦で 600 万円ずつ収入があると、この階層ということになる。

【座長】高所得者層についても現行のままで、異存はないということによろしいか。延長保育や一時保育等についてはどうか。階層区分によっては通常の保育料と比べると高額であるという話もあるが、他の自治体はどうか。

【事務局】定期利用保育については、東京都の金額を参考にしている所が多いようなので、極端に違うことはない。

【委員】通常の保育料について、第 2 子以降の軽減というのは議論していないのか。

【事務局】第 2 子は半額、第 3 子以降は無料としている。

【委員】私立の場合、延長保育の料金は公立保育所と比べて高いのか。

【事務局】私立だと、3 歳以上と 3 歳未満で料金を別にしてしている所や、10 分単位で料金設定している所もあり様々である。

【委員】延長保育等の利用料に関して、国の水準はあるのか。

【事務局】国の水準はない。

【座長】定期利用保育の 1 日 8 時間 2,200 円という東京都の基準は、いつ頃の基準なのか。

【事務局】時期はわからない。子ども子育て支援新制度になって新たに示された金額ではない。

【委員】延長保育等の利用料は、応能負担では料金設定できないのか。

【事務局】各園で徴収するので、応能負担にすると利用者ごとに金額が異なり、料金徴収の困難度が高いため導入が難しい。

【委員】所得が低い方の負担が重く、所得が高い方は負担が軽い。そうすると所得が低い方は利用しにくく、本当は所得を増やさなければならない人が、仕事を切り上げなければいけないという現象がおきてしまう。

【事務局】民間では年齢によって金額が異なる所もあるが、所得によって金額を分けるのは、徴収の面で難しい。理論的には、おっしゃるとおりだと思うが。

【座長】委員のご指摘がごもっともだと思うが、徴収上の問題で思うようにいかない。課題はあるが、当面現行の料金設定で異論はないということによろしいか。ご指摘の点は引き続きご検討いただきたいということは、伝えてほしい。

議題 2 看護専門学校授業料等

【事務局】看護専門学校授業料等について説明

【座長】看護専門学校総務課が作成した改定案が示されている。庁内の検討結果としては、これが最低水準だろうということ。将来的には都立看護専門学校の水準を

目指して段階的に上げていくべきというご意見である。また、改定による増収分については、設備の整備や市内就職率向上のための取組に使いたいという案が示されている。ご意見ご質問を承りたい。

【委員】都立看護専門学校の金額を目指すということには賛成だが、何年間でという具体的な期間がないと設備投資もできない。いつ頃までにという案を持っておいただ方がいい。

【事務局】「計画的に上げていく」というようなことを示すのは可能だと思う。

【委員】方向としてはこの案で良いが、より魅力のある学校にするためには、市内に就職すれば返済不要となる奨学金制度などの取組等が必要である。都内だけでも約 30 校の看護専門の学校があって、偏差値の一覧なども出ている。私立大学の看護学部は、学費は高いが海外留学や看護師の交換・交流制度などもある。そういったものを見ていると、この学校の存在価値、目的がわからなくなる。どのように魅力作りをやるかという中で考えていくべき課題だと思う。建物の建替えなども非常に大きな問題で、八王子市が果たして持つべきものなのかどうか。将来的に維持するのであれば、腰の据えたことをやらないといけない。目先の問題ではなく、魅力ある、存在価値のある、特色のある、八王子の看護専門学校をどう作るかという大きな課題の中で考えてもらいたい。

【事務局】奨学金制度については検討を始めている。東京都の奨学金制度は、月額 32,000 円を貸与し、都内の一定の条件を満たした医療機関に就職した場合は返済免除というものなので、八王子市はこれを上回る水準の奨学金制度を創設したいと思っている。偏差値の話があったが、本校の看護師国家試験合格率は高く、ここ 2 年間は 100% 国家試験に合格しているので、卒業時には、一定レベルの看護の知識・技能を有している。

【委員】1 学年 40 人というのは、都立の専門学校に比べてどうなのか。

【事務局】都立の看護専門学校の入学定員は北多摩が 120 人、他の 6 校は 80 人。市内に看護学科を設置している大学もあるので、八王子市が保有し続けるのであれば、将来のビジョンを持ってやっていかなければいけないと思っている。

【委員】病院のそばにあるメリットは何かあるのか。

【事務局】八王子は市立の病院がなく、2つの大学病院を中核病院としている。そのうちのひとつである東京医科大学の八王子医療センターの隣に看護学校が位置していて、実習も多くは医療センターで行っている。

【委員】八王子の看護専門学校を選ばれる方の状況は実際どうなのか。低所得の方が授業料等の負担が少ないという理由で選んでいるのか、偏差値で選んでいるのか。それによって学校の位置づけが変わってくる。

【事務局】どういう所得の方が志願されているかということとはわからない。

26 年度の志願者数は、社会人が 68 人、一般 187 人、合計 255 人で、倍率は 6.4 倍。

【座長】授業料等を都立の専門学校の水準に近づけるといことは、教育内容も同様と判断してよいのか。

【事務局】どちらも最大の目標は、看護師国家試験合格ということなので、その意味では

そろっている。

【座 長】授業料等を上げるというのは一つの考え方ではあるが、単純に都立の看護専門学校の水準に近づけるといっただけでは根拠が弱いと思う。学校の役割や方向性、市が保有する必要性など、全体の中で長期的に考えていくことが必要ではないか。この検討会だけでは、そのような大きな問題を扱えないが、背景となる問題についても議論を深めたいので、授業料等を設定していただくのがよろしいかと思う。

議題3 スクールバス利用者負担金

【事務局】スクールバス利用者負担金について説明

【座 長】特徴は2点ある。1点目は、実際のコストを基に算出するのではなく、路線バスが運行していると仮定して、その場合の運賃を算出基礎としているということ。2点目は、路線バス利用者の補助と同様の1/3を自己負担としているということ。算出方法や負担額について、ご意見を賜りたい。

【委 員】個人負担は必要なのか。私は無料でよいと思う。義務教育なので、距離や道路の状況が通学に適さない、バスを利用せざるを得ないと客観的に判断されるなら、保護者にその費用を負担させるべきではない。

八王子市の将来的な設備更新費用を考えると、小中学校の集約化は喫緊の課題である。それを効率的に進めるためにも、必要性のあるものは自己負担なしという形をとることで、側面支援になるのではないか。

【委 員】考え方としては、今回の資料にある計算方法が適当だと思う。

平成17年度から金額改定していないというのは、路線バスの運賃が上がっていないということか。

【事務局】金額の算定は毎年行っている。結果として、路線バスの運賃が変わっても、定期券の額が変わらないなどの理由で、負担額には影響がなかった。

【委 員】他の学校で路線バス通学をしている生徒は自己負担があるので、私は現行のまままでよいと思う。

【委 員】スクールバスの大きさは、普通のバスより小さいのか。

【事務局】委託業者のバスを使用するので、委託業者による。

【委 員】バスのサイズが小さければ、経費も少なくなるか。

【事務局】委託料が安くなる可能性はある。ただ、高速ツアーバスの事故を受けて国交省が運行基準を厳格化した影響で、平成27年度の決算額は、これまでの約3倍になる見込みである。

【委 員】一般の方も乗せてお金をいただくことはできないのか。バス路線がないのであれば、一般の方にも需要があると思うので、その方々を乗せて料金をいただければ、生徒は無料化できるのではないか。

【委 員】アイデアとしてはいいと思うが、一般の方を乗せるのは、認可等の関係で難しい。

【座 長】今のところ、無料化するべきというご意見と、現行のまままでよいというご意見

があるが、いかがか。

【事務局】無料化については、例えば今後学校の統廃合を進めていく上で、手法のひとつと考えられる。

【座長】路線バスで通学している生徒はどのくらいか。

【事務局】26年度は小学校156人、中学校111人。路線バス通学の場合は、運賃の2/3を補助している。

【座長】通学の安全性まで完全に責任を持ってやるのであれば、無料化を検討することも必要である。付加的なサービスとして運行するのであれば、現行のように一部補助を出して負担していただくというのがよいと思う。長期的に統廃合ということも念頭に置くのであれば、そのための1つの手段として無料化を検討課題とすべきではないかというご意見であった。

議題4 検診受診費用

【事務局】検診受診費用について説明

【座長】がん検診と歯周病検診は、健康増進法第19条に基づく健康増進事業として実施、18～39歳の健康診査は市独自の制度ということである。基本的に自己負担率は2割程度ということであるが、ご意見等があれば賜りたい。

【委員】がん検診で、内容ごとに負担率が異なるのは何か理由があるのか。

【事務局】金額を100円単位で設定しているため、検診費ががん種ごとに異なる中で、20%に近いものとそうでないものがある。

また、女性のがん（乳がんと子宮頸がん）については、対策に力を注いでいるため、政策的な観点から低い水準に抑えている。

【委員】なぜこんなに自己負担率がバラバラなのか。統一して全て2割にするということとは出来ないのか。

【事務局】基本的には2割を上限に、引き上げられるものは引き上げていきたいと考えている。ただ、受診率が低いものについては、受診率を高めることが先決であるため、乳がん・子宮頸がんについては低い割合で設定している。

歯周病検診は、設定当時の金額がそのまま継続されている。現在は検診費用が4000円なので800円とすべき。ただ受診者数が少ないので、制度そのもの見直しが必要だと考えている。

【委員】負担割合の設定について、国のガイドラインや都の指導は一切ないのか。

【事務局】健康増進法では、検診の実施は努力義務とされているので、自己負担率についても各自治体で決めることになる。

例えば、八王子市では肺がんと大腸がんは有料であるが、26市では無料としている市が多い。無料としている市では定員を設けていて、希望者全員が受けられないということもある。

【座長】ご意見のとおり、負担率が種類ごとに異なるというのはわかりにくい面がある。受診率向上の目的で調整しているという話もあったが、2割という上限があるなら、そこを目指すのが理屈としてはわかりやすい。

受診率の目標値は設けているのか。

【事務局】本市のがん予防推進計画の中で示されている。

【委員】現行の料金は、負担感を感じにくい価格設定をした結果、負担率がバラバラになっているのではないかと。受診率を上げるためには、確かにそのような設定方法もあるが、決まった負担率を設定した方が、今後の検診費用の変化にも対応できる。受診率を上げる必要がある一方で、財政の問題もあるので、比率をきちんと決めて運営するというのも重要だと思う。

【事務局】胃がん検診は、今後検査方法の変更により検診費用が上がる可能性があるため、その場合には20%の上限を踏まえつつ改定する必要があると思う。検診の精度が高まるほど費用は上がると思うので、行政と受診者の負担割合について、一定の割合を示している以上は、それに基づいて改定するのが筋だと思う。

【座長】2割というのが1つの目安ということなので、それを踏まえて今後ご検討いただきたい。

【事務局】生活保護受給者と住民税非課税世帯については、自己負担額を無料としている。ただ、検診費用は診療報酬をベースとしており、住民税非課税世帯の方は通常の診療は3割自己負担のため、基本的な考え方に基づいて有料としたい、というのが担当所管の考えである。

ただこの検討会でも、減免の対象を「生活困窮者」とし、生活保護受給者に限定していないので、それをどこまでと捉えるかは、各制度の中で検討するべきであると事務局では考えている。この点についても、ぜひご意見を伺いたい。

【委員】予防段階の自己負担を無料にすることで、将来的な市の負担をなくすための政策ということか。

【事務局】今はそうなっている。

【座長】考え方として、検診という事前の対応を重視するのか、事後的な対応とするのかという点は重要だと思う。そこは政策的な対応で、受益者負担の適正化とは発想が全く違う。各制度毎に判断するのであれば、そのスタンスはきちんと理解した上で決める必要がある。

【委員】確かに900円や1800円という金額は、そういう方にとっては払いにくい。

【座長】将来的な自立を助けるという意味では、無料とする考え方もある。将来的に生活保護に陥らないようにすることで、財政支出を減らしていく。どちらがよいのかという判断は難しいが、免除するかしないかという現象だけではなく、そういった違いがあるということは明確にしておいた方がよい。

議題5 予防接種費用

【事務局】予防接種費用について説明

【座長】予防接種にはA類とB類があり、A類は無料、B類は半額自己負担ということである。他市の状況や、接種率と負担割合の関係についても説明があったが、ご意見を賜りたい。

【委員】個人的には半額程度の負担率でよいと思うが、そうすると全国的に見て非常に

高いということになる。

【座 長】接種率や接種者数などの目標値はあるのか。

【事務局】担当所管に確認する。

【座 長】もし目標があるなら、それとどう乖離しているかを知る必要がある。

【委 員】接種率が38%というのは低い。

【座 長】多くの人に受けてもらいたいのであれば、自己負担率を調整するというのも考え方としてはある。料金設定の際には、そういった政策的な考え方が必要だと思う。

【委 員】接種率が上がるよう改善するべき。

【事務局】ただ、他市の状況を見ると、料金が低いからと言って接種率が高いわけではない。啓発の方が有効かもしれない。

【委 員】高齢者インフルエンザは、八王子・町田・日野・多摩・稲城の5市で委託料・自己負担額・自己負担率が同額であるが、統一しているのか。

【事務局】統一価格で、相互乗り入れを可能としている。

【委 員】肺炎球菌の方は相互乗り入れしていない理由は何か。

【事務局】肺炎球菌は、定期接種になる前から各自治体が独自で行っていた経緯があり、自治体ごとに医療機関との契約方法や負担割合の考え方が異なることなどが原因だと考えられる。

【委 員】接種率を上げるのは難しい。副作用などの問題で、絶対に受けないという方は必ずいる。岡崎市の接種率65%というのは驚く割合である。

【事務局】岡崎、豊橋、豊田と愛知県の自治体は軒並み高いので、県の政策と関係があるかもしれない。

【座 長】接種率の状況が自治体によって違うが、その理由を把握するのは難しい。実態として接種率の現状や目標値がどうかということも踏まえて検討していただきたい。

それでは本日の検討会を終了とする。ありがとうございました。

3.閉会